

令和２年度第１回君津地域保健医療連携・地域医療構想調整会議委員からの意見及び県回答について

【議事１】２０２５年に向けた医療機関毎の具体的な対応方針について

	意見	回答
1	今回、当院が高度急性期としてこれまで報告していた 220 床を 実態に合わせ急性期に変更したため（1 床は手術室に改造）、高度 急性期 492 床→272 床、急性期 125 床→344 床となった。 医療圏全体では 2025 年の必要病床数と差は、高度急性期：40 床過剰、急性期：389 床過剰、回復期：627 床不足、慢性期：240 床過剰となり、急性期の過剰、回復期の不足が明らかである。今 後当企業団としては、大佐和分院の建直しを見据え、地域医療構 想を考慮した上で分院の機能分担の変更も視野に入れる必要が あると考える。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 貴院の今後の方針につきまして承知しました。
2	２０２５年に団塊の世代が後期高齢者となるということで急 激な高齢者人口増加が待っております。そして、その後も増加は 続く訳です。その対策としては、医療従事者の確保、分野によっ ては「ＡＩ」の導入（マイナンバーカードによるオンライン化の 促進を含め）病床数の確保等、早急な準備が必要と思います。我々 も在宅医療への積極的な取り組みやＡＩ化にも対応してゆく考 えです。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 今後の地域医療のあり方の参考とさせていただきます。

3	引き続き非稼働病棟の解消に向けた対応をお願いします。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 県では、今後の再稼働の予定について、再稼働の意向がある場合には早期の稼働を促すとともに、稼働の予定がない場合には、病床の自主返上を働きかけているところです。
4	2025年の目指すべき医療提供体制の実現に向けて、県全体で引き続き地域医療構想を推進するとともに、地域による医療の偏在解消を目指すことを期待します。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 今後も限られた医療資源であっても質の高いサービスが受けられるよう、将来の医療需要や各医療機関が担っている医療機能の現状を地域医療構想調整会議で共有し、医療機関相互の協議や自主的な取り組みを促すことで、医療機関の病床機能の分化と連携を推進してまいります。
5	看護師不足のため、病床が非稼働となっている現状があることから、看護師、医師等の確保について、県においても支援策をご検討いただきたい。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 医師・看護職員の確保については、修学資金貸付制度をはじめ、養成支援や定着促進、再就業の促進等、様々な側面から対策を講じているところです。引き続き、必要な医師・看護職員の確保に向け、積極的に取り組んでまいります。

【議事2】医療計画及び介護保険事業（支援）計画における整備目標及びサービスの量の見込みに係る整合性の確保について

	意見	回答
1	今後慢性期の介護療養型医療施設から介護医療院への移行を促すとともに、在宅医療・介護サービスの需要は年々増加するも	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。貴院の今後の方向性について承知いたしました。

	のと考えられ、在宅医療への注力が必要と考える。 計画値は在宅医療の数値が少し少ない様に感じられるが、当院としては、病院の機能上直接在宅医療には深く係われないので、近隣の在宅医療機関と連携することによりその役目を果たしたい。	在宅医療の需要については今回議題としてあげられた追加的 需要（病床機能分化・連携による需要増加）だけでなく、高齢化 の進展による需要増加も見込まれていることから、引き続き在宅 医療の充実に向けて取り組んでまいります。
2	「要支援者」の自宅での自立期間を延長できる様な方策や介助 または介護をしている家族等への補助等で在宅期間を長くでき るとよいと思います。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 今後の事業推進にあたっての参考にさせていただきます。
3	関係法規に適合し、地域の実状に沿ったサービス量の見込みを 今後お願いします。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 医療計画と介護保険事業（支援）計画の整合性を確保した上で、 各施策の推進に取り組んでまいります。

【報告事項 1】 令和元年度病床機能報告と定量的基準に基づく病床機能の推計値

	意見	回答
1	君津医療圏では当院が高度急性期病床の一部を急性期病床へ 変更したため、高度急性期病床は必要病床数に近づいたが、逆に 急性期は余剰分が増加した。また相変わらず、回復期の不足、慢 性期の余剰が継続している。今後、急性期から回復期への転換、 慢性期から介護医療院への転換が必要と考える。 ここで気がかりなのは、今後仮に急性期から慢性期への転換が	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 引き続き、将来の医療需要や病床機能報告データ等を調査・分 析の上、地域医療構想調整会議等において共有、検討することな どを通じて、地域において必要な医療提供体制の整備が進むよう 取り組んでまいります。

	進んだ場合、君津医療圏の2次救急病院の減少が危惧される。現在も君津医療圏の2次救急輪番はギリギリの状態で行っているため、今後2次救急病院が減少していくようであれば、当医療圏の救急医療体制を根本から考え直さなければならないかもしれない。	
2	病床減に向けての病院の統廃合計画がございましたが緊急時（災害・感染症等）病床の確保が必要とされますので現状でよろしいのではないかと思います。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 今後の地域医療のあり方の参考とさせていただきます。
3	当圏域においては、毎年度、回復期病床の不足と急性期・慢性期病床の過剰さが指摘されるが、この状況による混乱は特になくという報告がされるが、今年度の状況はどうであったか、また、毎年度急性期・慢性期病棟にもかなりの回復期患者がいると報告を受けるが、今年度も同じ状況であったか、病床数の計算は病棟ごとの集計なのか知りたい。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 定量的基準に基づく病床機能の推計値については、地域の医療機能の現状を分析し、医療機関の皆さまが医療機能の分化と連携を議論するための目安としてお示ししています。 今回の資料は、令和元年度病床機能報告（令和元年6月診療実績）に基づく診療内容等から分析を行ったものであり、令和2年度の状況は把握しておりません。 なお、病床数の算定に当たり、病床機能報告においては病棟ごとに算定し、定量的基準に基づく病床機能の推計値においては病床ごとに算定しています。
4	限りある医療資源の効率的な運用を今後もお願いしたい。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 今後の地域医療のあり方の参考とさせていただきます。

【報告事項 2】 令和元年度地域医療介護総合確保基金による各種事業の実施状況について

	意見	回答
1	君津医療圏では在宅医療に関する事業における基金の活用が少ない様です。在宅医療を促進するためにも基金の活用を促したい。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 各地域で基金を活用した事業実施を促しているところですが、事業内容によっては各地域のニーズとあっていない場合もあり得ることから、関係者から必要な事業の提案を例年6月頃に受けておりますので、ご活用いただければ幸いです。 なお、地域毎の取組には記載されておりませんが、全県的に在宅医療スタートアップ支援事業（在宅に関係する研修事業）を実施しており、令和元年には君津・木更津地域においても研修を実施したところです。引き続き在宅医療の充実に向けて取り組んでまいります。
2	在宅医療推進にも関連しますが、オンライン診療、服薬指導の事業実施を進展させたい。そのための基金は確保できるのでしょうか。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 地域医療介護総合確保基金については、例年6月頃、事業提案を募集しておりますので、ご活用いただければ幸いです。 なお、提案いただいた事業は県内の需要や事業の効果を踏まえ、事業実施の可否を含め検討いたします。
3	引き続き基金を活用した事業実施をお願いしたい。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 今後の基金活用の参考とさせていただきます。
4	医師修学金貸付事業は新規利用者が昨年度より増加しており、	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。

	県の医療従事者の人材確保につながることから、更なる事業展開に期待したい。また、若年層の他、中堅層の人材確保も施策検討いただきたい。	引き続き、医師修学資金貸付制度の利用者を確保するとともに、医師免許取得後、円滑に地域医療へ貢献できるよう、本人の希望するキャリア形成との両立を支援します。また、研修環境の充実による若手医師の県内外からの確保、職場環境や処遇の改善を促進することによる定着促進、医師少数区域等への医師派遣促進による偏在是正等、様々な側面から対策を講じてまいります。
--	--	---

【その他】

	意見	回答
1	各資料の説明がないためよく理解できず、質問ができません。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 今回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言が発令される中、感染防止の徹底等を図るため、書面開催とさせていただきます。 次回会議の開催方法につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を鑑み、適切に判断してまいります。
2	今回の新型コロナのパンデミックで明らかになった事は、君津医療圏では新型コロナ感染患者を診る医療機関が君津中央病院しかないことである。当医療圏では、軽症者や無症状者用の収容ホテルもなく、当院で収容できない患者は自宅療養するしかなかった。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 国から、新興感染症等の感染拡大時における医療について、次期医療計画に追加する方針が示されています。 県では、今後、国から示される指針等を踏まえながら、新興感染症等の感染拡大時における医療提供体制の確保について検討

	今後の新興感染症のパンデミックに備えるには、分院の建直しに当たり、万が一の場合に備え本院のバックアップ病床としての役割を果たせるような病床機能を持たせておくことが必要である。	する予定です。
3	自然災害と感染症への備えとして、病床の確保又は緊急時に仮病床又は診療対応ができる対策が必要と思われます。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 国から、新興感染症等の感染拡大時における医療について、次期医療計画に追加する方針が示されています。 県では、今後、国から示される指針等を踏まえながら、新興感染症等の感染拡大時における医療提供体制の確保について検討する予定です。
4	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う医療崩壊の危機は公立病院の少ないことが原因ではないかとの指摘があるが、公立病院の統廃合を進めている当課においてはどのように考えているか。	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。 国では、全国一律の基準に基づく分析により、公立・公的医療機関等が策定した具体的対応方針の再検証を要請しています。 一方、当該分析結果をもって、公立・公的医療機関等の将来担うべき役割や、それに必要な病床数、病床の機能分化・連携等の方向性を機械的に決めるものではないとされております。 県では、地域の実情を十分に踏まえるとともに、これまでの協議状況等にも留意し、地域医療構想調整会議において丁寧な議論を行ってまいりたいと考えています。
5	勉強不足で申し訳ありませんが、配布された資料の説明が添え	ご意見いただきまして誠にありがとうございます。

	られておらず、意見の申し上げようもありません。 委員の変更もあろうかと思えるので委員名簿を送付いただきました。	今回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言が発令される中、感染防止の徹底等を図るため、書面開催とさせていただきました。 次回会議の開催方法につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を鑑み、適切に判断してまいります。 なお、委員名簿につきましては別途送付させていただきます。
--	---	---